

令和3年(2021年)3月31日(水曜日)



クラウドファンディングでの協力を呼びかけたシンポジウム
＝三島市民生涯学習センター

市民生涯学習センターで開いたシンポジウムで、渡辺豊博専務理事がこれまでの経緯について説明した。松毛川にはメダカの群集がみられるなど貴重な動植物が生息するほか、樹齢100年を超える多くの巨木にさまざまなかつら鳥が飛来しているという。GW三島は2003年から、廃棄物の不法投棄や放置竹林の拡大で荒廃した松毛川の保全活動を続けていた。

昨年には周辺の土地専用サイト<https://readyfor.jp

GW三島

三島、沼津の市境を流れる松毛川の整備に取り組む三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島はこのほど、環境保全活動への支援を呼びかけるクラウドファンディング(CF)を開始した。

CFで協力呼びかけ

約3千平方㍍を買い取って永続的な管理に乗

り出し、これまでに両岸の2・4㌶にわたりて竹林の伐採や苗木6千本の植林を行った。CFで集まった資金は今後の管理費用に充てるほか、野鳥の観察小屋を建設したり、桜を植樹したりして環境整備を進める。渡辺専務理事は「活動はまだ途中。貴重な原風景の河畔林をみんなで守つていきたい」と支援を呼びかける。

CFの目標額は500万円で、期間は5月28日まで。協力者は、

松毛川の環境保全支援

/projects/gw_mishima>から参 加できる。
(三島支局・金野真二)